令和９年度

社会人選抜学生募集要項

令和8年8月

静　岡　大　学

目　　次

Ⅰ　はじめに　２ページ

☆　静岡大学の「入学者受入の方針(アドミッション･ポリシー)」
☆　各学部の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー)

Ⅱ　募集人員　４ページ

Ⅲ　出願資格　４ページ

Ⅳ　出願手続　５ページ

１　出願期間
２　出願書類等
　◎ 検定料の返還等について
３　出願方法
４　出願先（郵送先）
５　障害のある入学志願者への受験上の配慮

Ⅴ　選抜方法　９ページ

Ⅵ　選抜方針　９ページ

Ⅶ　判定方法・配点　９ページ

１　判定方法
２　配点

Ⅷ　選抜日時　９ページ

Ⅸ　試験場　10ページ

Ⅹ　合格発表　10ページ

Ⅺ　欠員補充　11ページ

Ⅻ　入学手続（概要）　11ページ

ⅩⅢ　一般選抜に併願する人の取扱い　11ページ

◎　静岡大学（静岡キャンパス）位置図　12ページ

◎　入学試験情報の提供　13ページ

◎　個人情報の取扱い　13ページ

◎　安全保障輸出管理　13ページ

※本要項において「個別学力検査」とは，本学が実施する「教科・科目に係る個別テスト」のことを指します。

Ⅰ．は じ め に

☆ 静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」

【育てる人間像】

静岡大学は，教職員，学生が共に「自由啓発」を基盤として，平和で幸福な「未来創成」をめざします。この基本理念の下，地球の未来に責任をもち，アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え，高い専門性を有し，失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが，社会の様々な分野でリーダーとして，２１世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】

感性豊かな知性を育てるために，フィールドワーク，ものづくり体験，地域づくり，子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を，基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【求める学生像】

失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち，人の意見によく耳を傾け，それに学び，協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

＊「自由啓発」・「未来創成」については，本学ウェブサイトの 「大学案内」＞「理念と目標・取組」＞『理念 と目標』（ https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/ ） をご覧ください。

＊ 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており，一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

☆ 各学部の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

◆人文社会科学部

【育てる人間像】

２１世紀の多様な問題に，社会，言語，文化，法律，政治，経済等の分野から取り組むために必要な専門知識と能力を身につけ，国際的な視野と幅広い教養を備え，人類社会の発展に貢献する市民・社会人を育成します。

【目指す教育】

人文社会科学諸分野の専門教育とともに，専門知識を生かして課題発見・問題解決する能力を育成する少人数教育やフィールドワーク教育（体験型教育）を行います。

【求める学生像】

人類社会が共に抱える諸問題に関心をもち，人文社会科学領域に対する学習意欲と，そのための基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

社会学科は５つの専門分野からなる学際性の高い学科です。専門性を高めつつも横断的に学んでいくために，人間や社会に対しての旺盛な関心，各種科目についての基礎知識，論理的な思考力，正確な文章読解力，基礎的な表現力を身につけておくことが求められます。

言語文化学科で学ぶ基礎となる論理的な思考力，文章の読解力，自分の意見を伝える表現力，他者との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めておく必要があります。高等学校までの教育課程で修得する基盤的教養と国語や外国語の能力は特に重要です。

法学科で学ぶには，論理的な思考力，文章の読解力，自分の意思を適切に伝える表現力，他者との円滑な意思疎通を図る能力が必要になります。日頃から社会の動きに関心を持ち，幅広い問題意識と探求心を養っておいてください。

経済学科で学ぶには，必要な能力の素地となる基礎的な学力として，初等中等教育における国語・外国語・数学・理科・社会の各教科を学習しておくことが必要です。また新聞やニュースを通じて経済に関する国内外の時事問題等を理解しておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

［社会学科］

人間社会や文化を現代的，歴史的な観点（哲学・倫理学，心理学，社会学，文化人類学，歴史学・考古学）から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを目指し，そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［言語文化学科］

言語によって表現されうるあらゆる文化事象を教育研究の対象とします。言語と文化に関する深い専門性，学際的・国際的な視野，及び外国語の実践的能力を兼ね具えた人材を育成することを目指します。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［法学科］（夜間主コース含む）

法学・政治学は，現代社会の理解を目的に，それに必要な法的・政治的な知識，分析・総合能力，論理的思考能力，表現能力等の修得を目指すものです。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［経済学科］（夜間主コース含む）

人びとの経済活動は，現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済が変化していくなかで，その実態や理論を学び，経済問題への分析を深め，その解決方法を探ることはきわめて重要です。経済学科では，このような課題に取り組み，社会や企業において活躍できる人材の育成を目指しておりそのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

《社会人選抜》:夜間主コースのみ

（１）［法学科（夜間主コース）］小論文：法学科において学ぶために必要な基本的な知識や論理的思考能力，社会の事象に対する洞察力，そして文章表現力等を判断します。
［経済学科（夜間主コース）］小論文：経済学科で学ぶために必要な基礎知識，論理的思考力，読解力及び表現力等を判断します。

（２）［法学科（夜間主コース）］面接：志望動機と勉学意欲，表現力等を判断します。
［経済学科（夜間主コース）］面接：就学条件，志望動機と勉学意欲，表現力等を判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
社会人選抜	法学科，経済学科(*2)	小論文	○	○	
		面接		○	○

*2：夜間主コースのみ

Ⅱ. 募　集　人　員

学　　部	学　科　名	募集人員	
人文社会科学部 （夜間主コース）	法　　学　　科	**第１期**	15 名
		第２期	―
	経　　済　　学　　科	**第１期**	8 名
		第２期	7 名
計			**30 名**

【注】人文社会科学部（夜間主コース）経済学科は，**第１期**及び**第２期**に分けて募集します。

Ⅲ. 出　願　資　格

学　部	学　科　名	出　願　資　格
人文社会科学部 （夜間主コース）	法学科 経済学科	**【経済学科は，第１期及び第２期に共通します。】** 高等学校（または中等教育学校）を卒業した人（通常の課程による12年の学校教育を修了した人を含む）及び令和9年3月高等学校卒業見込みの人または学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人で，次のいずれかに該当する人 １　令和９年４月１日において，１年以上の職歴を有する人または１年を経過することが見込まれる人 ２　職歴が１年未満であっても，現に就業し，入学後も就業しながら勉学することを確約できる人 ３　高等学校卒業等大学入学資格を取得した年月にかかわらず，通学可能な範囲に就職することが内定している人 ＊　自営業者，主婦・主夫はその期間を職歴とみなし，１または２で出願ができます。 ＊　１のうち，１年以上の職歴を有する人には，現に就業していない人を含みます。定年退職等で退職した社会人は，１で出願できます。 ＊　高等学校卒業見込みの人で就職が内定している人は，３で出願できます。なお，高等学校には，高等学校専攻科を含みます。 ＊　定時制，通信制，夜間学校に在学した期間に定職（恒常的なアルバイトを含む）に就いていた，または現に就いている人は１または２で出願できます。全日制高等学校卒業見込みの人は，高等学校在学中に前述の定職があっても，１または２では出願出来ません。

【注】１　人文社会科学部（夜間主コース）経済学科の第１期試験に出願し不合格となった人も第２期に出願できます。
２　日本国籍を有しない人（日本国の永住許可を得ている人を除く）が人文社会科学部（夜間主コース）に入学しても，「留学」の在留資格は取得出来ません。

Ⅳ. 出　願　手　続

1 出願期間

学　　部	学　科　名	出　願　期　間	
人文社会科学部 （夜間主コース）	法　学　科	第1期	令和 8 年 10 月 19 日（月）～ 令和 8 年 10 月 23 日（金）
	経 済 学 科	第1期	令和 8 年 10 月 19 日（月）～ 令和 8 年 10 月 23 日（金）
		第2期	令和 9 年 2 月 1 日（月）～ 令和 9 年 2 月 5 日（金）

【注】 いずれも**最終日の17時までの必着**とします。

2 出願書類等

1－1　(表面)志願票 **1－2　(裏面)志望書**	本学所定の用紙を用いて志願者本人が作成してください。
2 受験票・写真票	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。出願前３か月以内に撮影した写真（縦４cm×横３cm，白黒・カラーいずれでもかまいません。）を貼ってください。
3 ≪入学検定料≫ 振替払込受付証明書 貼付用紙 入学検定料 人文社会科学部（夜間主コース）：10,000円	（1）**入学検定料** … 10,000 円 （2）同封の『**払込取扱票**』により，**郵便局・ゆうちょ銀行**（ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。）の**受付窓口**で払込んでください。 ＡＴＭ（現金自動預払機）は利用しないでください。 【注】①払込取扱票の「ご依頼人」欄（３カ所）に志望学部，住所，氏名（受験者本人）等を，黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。 ②「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には，必ず，**日附印**の押印を確認してください。 （日附印のない場合には，出願書類を受理しません。） ③払込手数料は，203円 です。 （3）「 ≪入学検定料≫ 振替払込受付証明書貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ，『**振替払込受付証明書**（**入学検定料受付証明書**）』を貼り付けて，他の書類といっしょに提出してください。 【注】「振替払込請求書兼受領証」は，受験票を受け取るまで大切に保存してください。 ◎ 払込後の入学検定料は，７ページの「検定料の返還等について」に掲げる場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
4 調 査 書 等	ア　在籍（又は在籍した）学校の長が令和８年４月以降に作成したもの 【注】厳封したものを提出してください。 イ　廃校，被災その他の事情により在籍（又は在籍した）学校の長が作成する「調査書」が得られない場合は，調査書を準備できない理由書と卒業証明書・成績通信簿・その他，入学志願者が提出できる書類 ウ　本人が被災した場合により上記イの書類を整えられない場合は，在籍（又は在籍した）学校を所管する教育委員会，知事又は在籍（又は在籍した）学校の長が作成したこれに関する証明書 エ　高等学校卒業程度認定試験合格者は，合格成績証明書（合格見込み者は，合格見込成績証明書） オ　高等学校卒業程度認定審査の合格者は，合格証明書

※ 次のページへ続きます。

<table>
<tr><td>５ 職歴(在職)証明書又は就職内定証明書等の出願資格を満たすことを証明する書類</td><td>出願資格を満たすことを証明する書類を提出してください。

≪例≫
●職歴（在職）証明書（企業等が発行したもの又は本学所定の「職歴（在職）証明書」を用いて企業等が証明したもの）
●就職内定証明書（企業等が発行したもの又は本学所定の「就職内定証明書」を用いて企業等が証明したもの）
●自営を証明する書類
<table>
<tr><th>区　分</th><th>必　要　書　類</th></tr>
<tr><td>自営業主</td><td>確定申告書第1表の写し（令和７年分のもの）又は開業届の写し</td></tr>
<tr><td>自営業専従者・家族従業者</td><td>自営業主の「自営を証明する書類」に加え，営業主との関係がわかる書類（住民票の写し等）</td></tr>
<tr><td>内職・業務委託</td><td>自営業主の「自営を証明する書類」又は委託元が作成した就労証明書又は委託契約書の写し</td></tr>
<tr><td>法人代表者</td><td>登記事項証明書（会社・法人）の写し</td></tr>
</table>
●主婦・主夫を証明する書類
<table>
<tr><th>区　分</th><th>必　要　書　類</th></tr>
<tr><td>主婦・主夫</td><td>課税（所得）証明書及び世帯全員の住民票の写し</td></tr>
</table>
【注１】本人が作成したものは不可。内定通知書は不可。倒産等により上記書類を提出できない場合は，理由書とともに出願資格を満たすことが客観的に判断できる書類を提出すること。
【注２】住民票の写しはマイナンバーの記載がないものを提出すること。</td></tr>
<tr><td>６ 確約書</td><td>出願資格２で出願する者
本学所定の用紙を用いて志願者本人が作成してください。</td></tr>
<tr><td>７ 合格通知受信用あて名票</td><td>本学所定の用紙に合格通知書を受け取る場所の郵便番号，住所，氏名を記入してください。</td></tr>
<tr><td>８ 返信用封筒</td><td>本学所定の封筒に郵便番号，住所，氏名を記入し，必ず410円分の切手を貼ってください。
【注】郵送料には，速達料を含みます。</td></tr>
</table>

◎ 検定料の返還等について

払込後の入学検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

１　検定料の返還請求ができる場合

①検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
②検定料を誤って二重に払い込んだ場合
③出願書類，出願要件に不備があり，出願が受理されなかった場合

２　返還する検定料の金額

志願者本人の申し出により，10,000円を返還します。ただし，返還に係る振込手数料は，請求者の負担とします。

３　返還請求の方法

上記１の①または②に該当する場合は，便せん等を使って，次の１～８を明記した検定料返還請求書を作成して，必ず「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」または「振替払込請求書兼受領証」を添付して，令和９年２月26日(金)［必着］までに静岡大学入試課（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836）へ郵送してください。期限を過ぎての返還請求は受け付けません。

また，③の場合は出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので，必要事項を記入のうえ郵送してください。

静岡大学入学検定料返還請求書

1　返還請求の理由
2　選抜区分（社会人選抜）
3　出願しようとした学部名（人文社会科学部）
4　氏名（フリガナ）
5　現住所
6　連絡先電話番号
7　返還請求額（10,000円）
8　返還金振込先　・金融機関名（金融機関コード），支店名（支店コード）
　　・預金種別（当座・普通），口座番号
　　・口座名義人（フリガナ）
　　・口座名義人が志願者と異なる場合は，志願者との続柄

＜大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について＞

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について，志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。
詳しくは，静岡大学学部入試専用サイト（https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/）をご覧ください。

3 出 願 方 法

出願書類等を取りまとめ，本学所定の封筒により，所定の期日までに必着するよう【書留速達】で下記の出願先（郵送先）に郵送してください。

《出願にあたっての留意事項》

(1) 受領した出願書類は返却できません。
(2) 出願後の志望学科の変更は認めません。
(3) 出願後，「合格通知受信場所」に変更があった場合は，速やかに連絡してください。
(4) 出願に関して問い合わせをする場合は，志望学部の学務係に照会してください。
(5) 出願に際して記入した事項及び提出した書類については，すべて事実に基づき正確に記載・作成してください。虚偽の記載，改ざん又は不正が判明した場合は，出願の受理後または入学試験実施後であっても，合格や入学許可の取消し等の措置を講ずることがあります。

4 出 願 先(郵送先)

学　　部	出　願　先	担　当　係	電 話 番 号
人文社会科学部 (夜間主コース)	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部学務係	人文社会科学部学務係	TEL 054-238-4486

5 障害のある入学志願者への受験上の配慮

（1） 障害のある入学志願者で，**受験上及び修学上の配慮を希望する場合**は，出願する前に，下記により申請してください。結果については決定次第，本人に連絡します。
なお，申請前までに本学のキャンパス（設置場所，環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申 請 期 限	出願期間開始の１か月前まで，厳守でお願いします。 ※対応の検討に時間を要する場合もありますので，できる限り早めに申請してください。
申請の方法	本学所定の『受験上の配慮申請書』に，『障害者手帳』の写しまたは医師の『診断書』を添えて申請してください。 なお，必要な場合は，本人またはその立場を代弁できる方（保護者，出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連　絡　先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836　静岡大学入試課入試実施係　TEL 054-238-4465 窓口開設時間　8:30～12:30，13:30～17:15 （土曜日，日曜日，祝(休)日及び本学の一斉休業日は受け付けません。）

（2） 上記申請期限後に，不慮の事故等のため，受験上及び修学上の配慮を希望する場合は，速やかに本人または代理人が医師の『診断書』を持参のうえ，申請期限に遅れた理由書（様式自由）を添えて，上記【連絡先】に申請してください。

（3） 受験上の配慮の許可を受けた場合は，出願書類送付封筒の表に「受験上の配慮」と朱書きし，本学から送付された「受験上の配慮についての通知」の写しを出願書類に同封してください。

【注】１　『受験上の配慮申請書』は，本学のウェブサイトからダウンロードしてください。
（学部入試サイト = https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/measures/ ）
郵便による照会及び『受験上の配慮申請書』の用紙を請求する場合は，110円分の切手を貼り，請求者の郵便番号，住所，氏名を明記した『返信用封筒（長形４号：20.5cm×9cm）』を同封のうえ，上記連絡先まで送付してください。

２　電話による照会及び『受験上の配慮申請書』を持参する場合は，上記窓口開設時間に受け付けます。

Ⅴ. 選　抜　方　法

学　　部	学　科　名	選　抜　方　法
人文社会科学部 （夜間主コース）	法　学　科	**【経済学科は，第１期及び第２期に共通します。】** １　大学入学共通テストは課しません。 ２　志願者全員に小論文，面接を課します。 ３　小論文及び面接の結果を総合して選抜します。
	経済学科	

Ⅵ. 選　抜　方　針

学　　部	学　科　名	選　抜　方　針
人文社会科学部 （夜間主コース）	法　学　科	法学・政治学は，現代社会の理解を目的に，それに必要な法的・政治的な「知識」「分析・総合能力」「論理的思考能力」「表現能力」等の修得を目指すものです。 法学科において学ぶために必要な基本的な知識や論理的思考能力，社会の事象に対する洞察力，そして文章表現力等を評価するために小論文を課します。また，志望動機と勉学意欲，表現力等を評価するために面接を行います。
	経済学科	**【第１期及び第２期に共通します。】** 経済学科で学ぶために必要な基礎知識，論理的思考力，読解力及び表現力等を評価するために小論文を課します。また，就学条件，志望動機と勉学意欲，表現力等を評価するために面接を行います。

Ⅶ. 判定方法・配点

１ 判 定 方 法

(1)総合判定
　下表に示す小論文，面接の配点に基づいた得点順で，合否を決定します。

(2)人文社会科学部（夜間主コース）経済学科では，特定の科目等が，ある得点以下の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
　人文社会科学部（夜間主コース）法学科では，小論文，面接のいずれか一方の得点が０点の場合には，他方の得点にかかわらず不合格とします。

(3) 提出された書類（調査書・志望書等）は，総合的な判定の基礎資料として活用します。

２ 配　点

学　　部	学　科　名	配　点　等			その他
		小論文	面接	計	
人文社会科学部 （夜間主コース）	法　学　科	100	20	120	
	経済学科	100	40	140	**第１期及び 第２期共通**

Ⅷ. 選　抜　日　時

学　　部	学　科　名	選　抜　日　時	
人文社会科学部 （夜間主コース）	法　学　科	第１期	令和　8 年 11 月　7 日（土）　10時00分～
	経済学科	第１期	令和　8 年 11 月　7 日（土）　10時00分～
		第２期	令和　9 年　2 月 20 日（土）　10時00分～

Ⅸ. 試　験　場

学　　部	実施場所	所 在 地	交　　通　　機　　関
人文社会科学部 （夜間主コース）	【第１期】 静岡大学 人文社会科学部 【第２期】 静岡大学 共通教育棟	静岡市駿河区 大谷836	〈しずてつジャストラインバス〉美和大谷（みわおおや）線 ＪＲ東海 静岡駅 北口ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ ⑧番乗り場から 『静岡大学』行き　→「静岡大学」 下車 『静岡大学経由 東大谷』行き →「静岡大学」 下車 『静岡大学経由 ふじのくに地球環境史ﾐｭｰｼﾞｱﾑ』行き →「静岡大学」 下車 上記以外の『東大谷』行き →「片山」 下車 上記以外の『ふじのくに地球環境史ﾐｭｰｼﾞｱﾑ』行き →「片山」 下車 ○ バス乗車所要時間：約30分 「静岡大学」下車：試験場まで徒歩約５分～15分 「片山」　下車：試験場まで徒歩約15分～25分

【注】１　試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので，十分な余裕をもって出かけてください。また，天候不良や事故等により，利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には，受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。

２　定期運行している交通機関の事故等により，各試験で定められた集合時間に間に合わない場合は，直ちに，**人文社会科学部学務係**（054-238-4486）に連絡するとともに，交通機関においてこれを証明する書類の交付を受ける，又は交通機関のウェブサイトからダウンロードしてください。

３　試験開始30分以上の遅刻者の受験は認められません。なお，前注２による遅刻者は，本学が定める基準により，受験を認めることがあります。

４　地震等の災害，天候不良及び交通機関の事故等により，所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は，試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。
　措置の詳細については，本学ウェブサイト等に発表しますので注意してください。

５　次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，受験を停止し，試験を無効とします。
　ア　出願書類や試験上の書類への虚偽の記載や改ざん，又は虚偽の申告をすること
　イ　カンニングおよびカンニングの手助け
　ウ　監督者等の指示に従わないこと
　エ　試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

６　試験時間中に使用することが認められていない物，又は身に付けることを禁止している物品を所持又は使用した場合，若しくは試験時間中に当該物品が発見された場合には，不正行為とみなすことがあります。

７　提出書類又は試験に関して不正行為等疑義が生じた場合には，本学は必要に応じて追加的な確認を行うことがあります。また，悪質な不正行為等が認められた場合には，関係機関への通報又は警察への被害届の提出等，法的措置を講ずる場合があります。

【注意】試験前日または試験当日，最寄りの駅または試験場周辺で「合否至急電話」等の受付をする者がありますが，これらの行為は，本学とは何ら関係ないものであり，これらのことから生じるトラブル等に対して，本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

Ⅹ. 合　格　発　表

下記の日時・場所に，掲示するとともに，合格者本人に通知します。
また，本学のウェブサイトにも合格者の受験番号を掲載します。閲覧できる期間は，合格発表日時から入学手続日までです。

［学部入試ＵＲＬ］　https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

学　　部	学　科　名	発　表　日　時		発表場所
人文社会科学部 （夜間主コース）	法　学　科	第１期	令和　8 年 12 月　1 日（火）　16時	共通教育Ｌ棟 掲示板 （静岡キャンパス）
	経 済 学 科	第１期	令和　8 年 12 月　1 日（火）　16時	
		第２期	令和　9 年　3 月　6 日（土）　10時	

Ⅺ. 欠 員 補 充

1　人文社会科学部（夜間主コース）では，入学手続完了者が入学定員に満たない場合は，原則として，追加合格により欠員補充を行いますが，学校推薦型選抜の第２次募集により欠員補充を行うこともあります。
2　人文社会科学部（夜間主コース）経済学科の第１期で欠員が生じた場合には，第２期の募集人員に含めます。

Ⅻ. 入 学 手 続（概 要）

入学手続に関する詳細は，合格者に別途通知します。

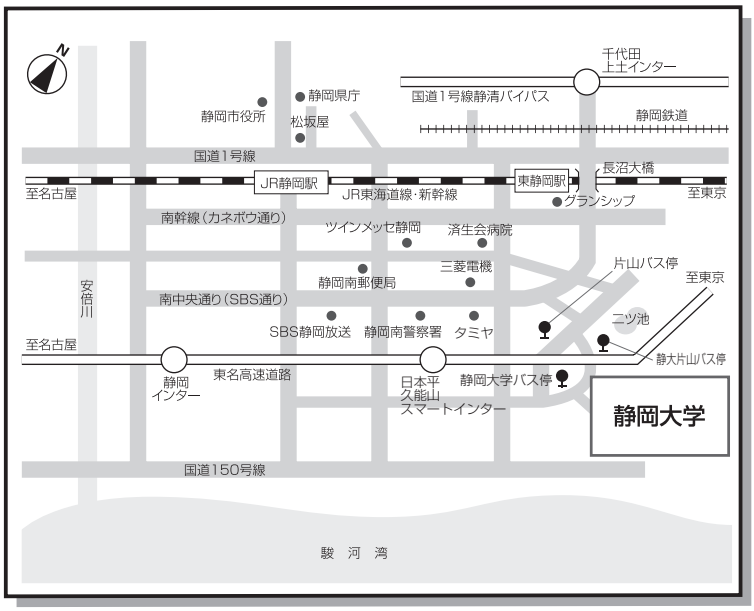
<table>
<tr><td colspan="2">学　部
項　目</td><td colspan="2">人文社会科学部（夜間主コース）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入学手続方法</td><td colspan="2">入学手続は，原則として郵送「書留速達」とします。（手続締切日の17時必着）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入学手続締切</td><td>【第１期】
令和８年 12 月 11 日（金）</td><td>【第２期】
令和９年 ３月 14 日（日）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">納付金の納入</td><td>入　学　料</td><td colspan="2">141,000 円</td></tr>
<tr><td>授　業　料
〔令和8年度実績額〕</td><td colspan="2">半期分　133,950 円　（年額　267,900 円）</td></tr>
<tr><td colspan="3">【注】１ 前期分の授業料については，令和９年４月１日から同年４月30日までに納入してください。
２ 入学料はいかなる理由があっても返還しません。
３ 本学では，文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
４ 在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">留 意 事 項</td><td colspan="2">１ 入学手続期日に入学手続を完了しない者は，入学辞退者として扱います。
２ 入学手続完了者は，本学所定の手続きにより入学辞退を許可された場合を除き，他の国公立大学・学部の入学許可は得られません。</td></tr>
</table>

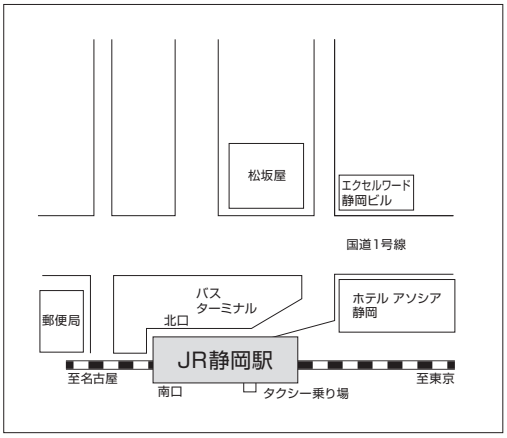
XIII. 一般選抜に併願する人の取扱い

社会人選抜の結果不合格となった人が，本学の一般選抜を受験しようとする場合（《令和９年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目》を受験した人に限ります。）は「令和９年度一般選抜学生募集要項（令和８年10月下旬公表予定）」に基づいて，別途出願してください。

静岡大学静岡キャンパス

人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・グローバル共創科学部





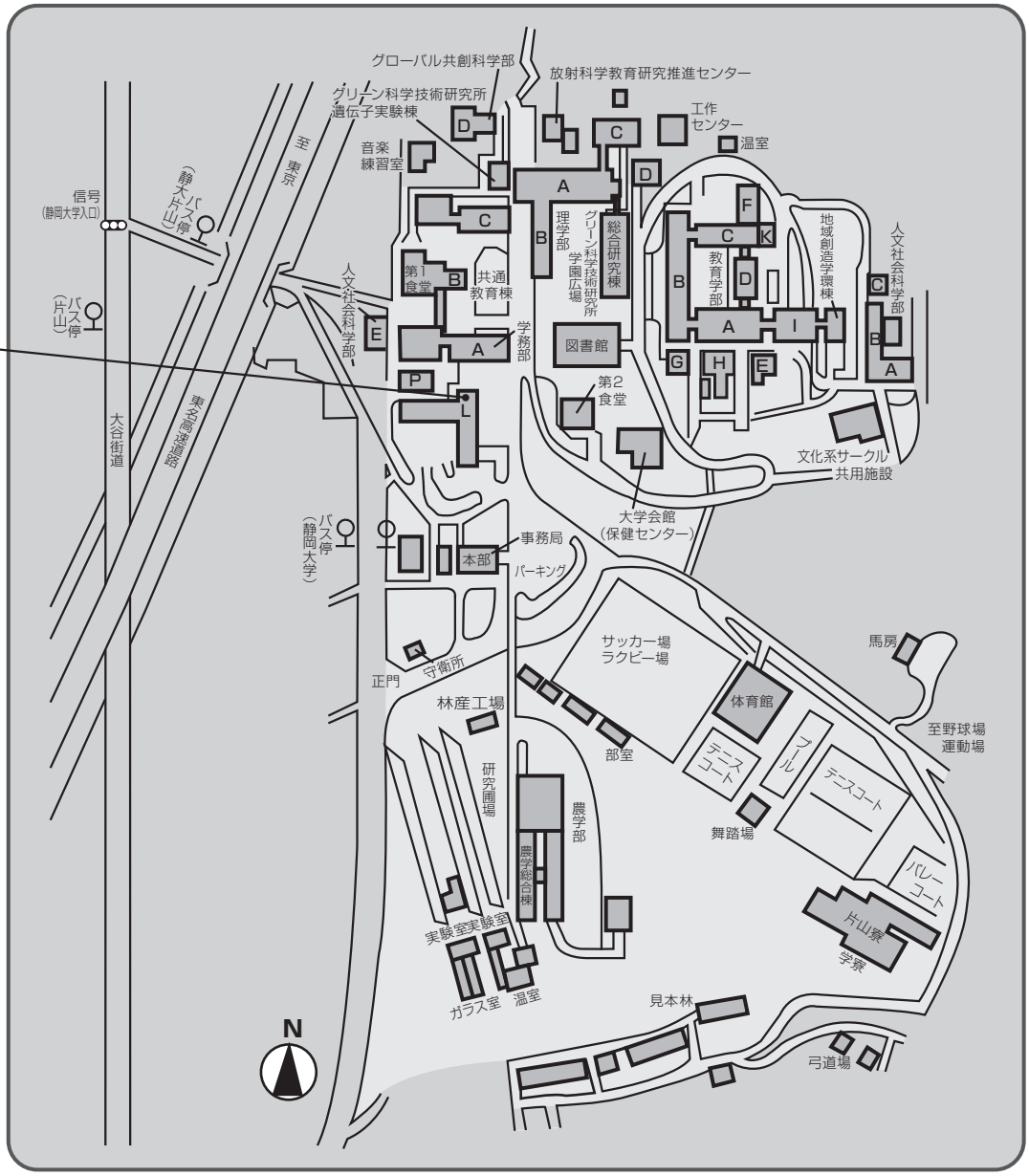
■静岡キャンパスへの交通案内

1．JR静岡駅前北口バスターミナルからしずてつジャストラインバス８番乗り場（静岡大学行き、東大谷行きまたはふじのくに地域環境史ミュージアム行き）に乗車し「静岡大学」または「片山」下車（所要時間約30分）

2．JR静岡駅からタクシーで約20分

合格発表場所

共通教育Ｌ棟掲示板



入 学 試 験 情 報 の 提 供

１．インターネット

［学部入試ＵＲＬ］　**https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/**

◎前年度の入学試験実施状況は，『令和８年度入学試験に関する調査資料』に掲載されています。
『令和８年度入学試験に関する調査資料』
https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/information/data/document/r08chousa.pdf

２．入試情報の開示

静岡大学には，入試情報開示制度があります。令和９年度入学試験成績等の開示申請を令和９年５月11日（火）から６月30日（水）まで受け付けます。詳細は，入試課までお問い合わせください。

個人情報（入学試験成績等）の開示申請には，**本学受験票及び本人確認ができる証明書等（免許証等）**が必要となります。

個 人 情 報 の 取 扱 い

個人情報については，「個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて，次のとおり取扱います。

１．出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続業務，④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。

２．国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名，性別，生年月日，高等学校等コード，大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。（総合型選抜，学校推薦型選抜，一般選抜に限ります。）

３．入学者の個人情報については，①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，授業料免除・奨学金申請，就職支援等），③授業料徴収，④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。

４．上記１．及び３．の各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下，「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，個人情報の全部または一部を提供しますが，提供する個人データについては，本学において必要かつ適切な監督措置を講じます。

安 全 保 障 輸 出 管 理

静岡大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め，外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」
静岡大学規則集 https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.html
第1編　全学共通＞第2章　組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」
https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html
ENGLISH PAGE https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html

入学試験に関する情報提供

静岡大学 学部入試サイト

・お知らせ　　・出願状況，合格発表
・募集要項等請求
・オープンキャンパス，説明会　　など

https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

入学試験に関する問い合わせ先

必ず，受験者本人が照会するようにしてください。

8:30～12:30，13:30～17:15〔土曜日，日曜日，祝(休)日及び本学の一斉休業日は受け付けません。〕

対 象	担当部局	所 在 地	電 話 番 号
人文社会科学部	人文社会科学部学務係	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4486
教育学部	教育学部学務係		054-238-4580，4579
理学部	理学部学務係		054-238-4861
農学部	農学部学務係		054-238-4815，4816
グローバル共創科学部	グローバル共創科学部学務係		054-238-3715
情報学部	情報学部教務係	〒432-8561 浜松市中央区城北三丁目5番1号	053-478-1510，1511
工学部	工学部教務係		053-478-1010
概要	入試課	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4464，4465